

感染状況を踏まえた対応

1 保健所の体制強化

- オミクロン株の陽性者及び濃厚接触者への対応等を迅速かつ適確に行うため、保健所の体制を強化するとともに、コロナ対策に係る事務処理の一元化を図る。

【応援職員の派遣】

- ・ 山城北保健所に1日10名の応援職員を派遣し、保健所職員とチームを組んで、陽性者及び濃厚接触者の状況把握と報告、自宅療養者の健康観察、陽性者に関する事務処理等を実施

【事務処理の一元化】

- ・ 府南部3保健所（乙訓、山城北、山城南）管内全ての陽性者に関する就業制限、入院勧告、公費助成等通知の事務処理を、山城北保健所で一元化して実施

2 宿泊療養施設の体制強化

- 今後の感染拡大に備え、宿泊療養施設での健康観察等を行う看護師の体制を拡充する。

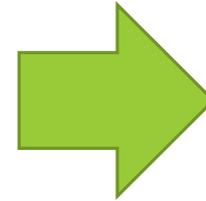
【現 在】 看護師長：3人 日勤：29人 夜勤：19人

【1月4日～】 看護師長：3人 日勤：34人 夜勤：24人 ※3施設合計の人数

3 入院療養体制の拡充

現 在【12月1日】			
	確保病床	即応病床	
病院数	48病院	48病院	
病床数	745床	639床	
重症病床	171床	154床	
	高度重症病床	51床	49床
	中等症病床	461床	385床
	軽症・無症状病床	113床	100床
入院待機ステーション (臨時の療施設)	110床	30床	
合 計	855床	669床	

宿泊療養施設	1, 126室	1, 126室
療養支援病床	313床	313床



拡充後【1月4日現在】	
確保病床	即応病床
48病院	48病院
758床	649床
171床	152床
51床	47床
467床	393床
120床	104床
110床	30床
868床	679床

※他に妊婦等配慮を要する方の専用病床20床

1, 126室	1, 126室
313床	313床



4 新型コロナ陽性者に係る対応について

現 行

入 院
(症状・株種を問わず**全ての陽性者**)

スクリーニング検査
ゲノム解析

オミクロン株

入院継続

デルタ株等

【入院が必要な方】
入院継続

【軽症・無症状者】
宿泊療養施設へ入所等



変 更 後

入 院
(重症・中等症、重症化リスク)

宿泊療養〔場合により自宅療養〕
(軽症・無症状)

スクリーニング検査
ゲノム解析

オミクロン株

入 院

デルタ株等

【入院が必要な方】
入 院

【軽症・無症状者】
宿泊療養等継続

5 治療薬の投与

	中和抗体薬										ラゲブリオ〔経口薬〕				
	ロナプリーブ〔注射(点滴)〕					ゼビュディ〔注射(点滴)〕									
	登録機関数	投与実績				登録機関数	投与実績				登録機関数	投与実績			
入院		外来	往診	合計	入院		外来	往診	合計	入院		外来	往診	合計	
病院等	50	861	63		924	50	32			32	50	10			10
無床診療所	5					2					49				
入院待機 St			9		9										
薬局											103				
合計	55	861	72		933	52	32			32	202	10			10

京都府把握分(12/31現在)

6 無料検査の状況

検査実施事業者

■ 検査実施事業者を順次追加

検査開始 (12/24)

7事業者

<2市>

→

現在 (1/4)

21事業者

<5市2町>

→

1/5~

64事業者

<10市2町>

→

順次追加

検査件数

12/24~1/3

検査件数 3,328件 (うち陽性判定3件)